

館林厚生病院だより 2016.5.10

りれいと



vol. 58

理念

信頼、安心 すべては、患者さんのために

基本方針

1. 常に医療資源を効率的に利用し、医療の質と経済性の調和をめざす
2. チーム医療に取り組み、安全な医療と快適な療養環境を提供する
3. 地域医師と共助し、住民の健康を支える病院となる

HP <http://www.tatebayashikoseibyoin.jp/>

副院長就任のご挨拶

新緑の候、緑がまぶしい季節になり、新たな時の始まりを感じさせられますが、館林厚生病院も、まもなく受付窓口や駐車場等の工事が終了し新たな顔つきになります。今年度は、地域包括ケア病棟が本格稼働しますが、この病棟は、急性期の治療後、病状が安定した患者さんが自宅や介護施設へ退院することを支援する病棟です。それと同時に自宅や介護施設などで生活している方が具合が悪くなった時に緊急に入院できる機能もある病棟です。これからは、医療と介護あるいは予防も含めた地域完結型医療が必要になります。住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるように、お役に立てればと思っております。

私が館林厚生病院に赴任して以来、ごく特殊な泌尿器科の疾患以外は当科で完結できるようにしたい（遠方の病院へ行かなくとも近くで治療できるように）と思って研鑽に心がけて参りました。がん診療・結石治療・内視鏡的手術治療等を中心として、いつも国内泌尿器科の標準水準は保ちながら、ほんの少しではありますがその上の水準を行く泌尿器科医療を地域へ提供できてきたのではないかなと自分では思っており、現在、県外も含め当院の医療圏外からの紹介も多い状況となっています。今後も、研鑽を積んでより良質な医療を提供していく心積もりです。

この度、副院長に就任いたしました。館林厚生病院をより良い病院に、そして泌尿器科診療をさらに良質にしていくことにがんばりたいと思います。よろしく願います。



中村 敏之 副院長

新年度のご挨拶

院長 新井 昌史

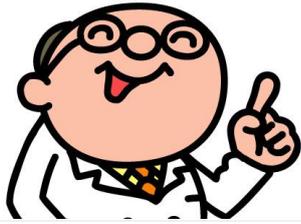
本年3月で、新病院の開院から早いもので1年経ちました。エントランスホールや駐車場などの建築はまだ続いており、全面オープンは7月を予定しております。これからの病院の計画ですが、診療科の充実が最も大切な課題であると考えています。3月には地域包括ケア病棟を開設し、専門医を招聘しました。認知症医療も専門の先生ですので、この面での活躍も期待されます。脳神経外科も3月から医師が増え、脳梗塞やクモ膜下出血など、緊急性治療を要する脳血管疾患により充実した治療が行えるようになりました。脳血管疾患はリハビリが大切ですが、これまでの回復期リハビリ病棟に加えて、地域包括ケア病棟が出来たため、充実したリハビリ体制が整いました。

内科は循環器部門が充実し、5名の循環器学会専門医が在籍しています。急性心筋梗塞に対する緊急カテーテル治療も24時間体制で行っており、昨年度は大幅に治療件数が増えました。がんに対しては、消化器外科、呼吸器外科、泌尿器科、放射線治療科、麻酔科がおもに担当しており、手術治療、抗癌剤治療、放射線治療など多彩な治療法から、患者さんにとって最適な治療を選択して行っています。放射線治療では、県内でも限られた施設でしか行っていないIMRTと呼ばれる最新の高精度治療を当院で行っています。

この他にも、耳鼻咽喉科、皮膚科、歯科・歯科口腔外科、小児科は、これら分野の専門医による治療を盛んに行っております。さらに、放射線診断科は全科の診断レベル向上に大きく寄与しています。現在、整形外科、眼科、産婦人科は非常勤医による診療体制ですが、鋭意、常勤医への転換を図っていくつもりです。住民の皆様のご支援を、これからもお願いいたします。

当院からのお願い

- ❖ 保険証は毎月1回必ず提出してください。
- ❖ 面会時間は午後1時から午後7時までです。入院されている方のためにも時間を守るよう、ご協力ください。



～新しい医師の紹介～

新しく入職した医師です。
地域のみなさん、よろしくお願いします。

診療科	氏名	職名
内科	高橋 聡	内科部長兼地域包括ケア副センター長
内科・循環器内科	齋藤 章宏	内科兼循環器内科副部長
外科・消化器外科	星野 弘毅	外科兼消化器外科医員
脳神経外科	山根 庸弘	脳神経外科医員
泌尿器科	大津 晃	泌尿器科医員
耳鼻咽喉科	御任 一光	耳鼻咽喉科医員
麻酔科	矢野 洋之	麻酔科医員
	曾我 太三	研修医
	前野 佑太	
	安塚 孝治	

～健康講座のお知らせ～

館林厚生病院では、年に4回健康講座を行っています。今回は、耳鼻咽喉科の医師による講座を開催しますので、みなさんぜひお越しください。

テーマ：「めまい いろいろ」

日時：7月14日(木) 16:00～(1時間程度)

場所：館林厚生病院3階 講堂

講師：室井 昌彦(館林厚生病院 副院長(耳鼻咽喉科))

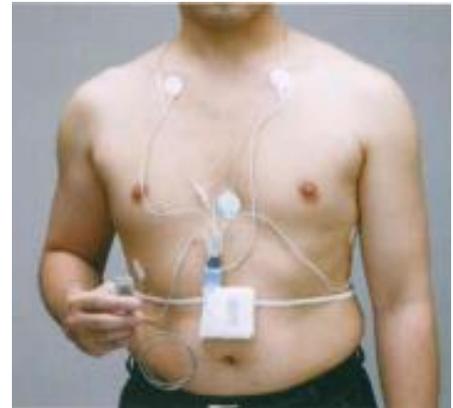
参加費：無料

事前申込：不要(参加される方は直接会場にお越しください)

ホルター心電図(24時間心電図)検査機器が 新しくなりました

○ホルター心電図検査とはどんな検査？

胸部の数か所にシール状の電極を貼り、携帯用小型心電計を体につけて、24時間にわたり心電図を記録します。記録された心電図を解析し、症状出現時、睡眠中、運動時等の心電図変化により、不整脈や狭心症等、通常の記録ではわからない病態の発見につながります。



装着例



○シャワーも使えるよ！

新しい機器は小型化、軽量化になり、シャワーだけなら可能になりました。

電極シールは、体の動きに追従する伸縮性フィルムを使用し、肌にやさしく患者さんの負担を軽減します。

記録された心電図の解析は臨床検査技師が行っています

編集後記

例年同様、暑いまち館林は健在で、テレビで「館林」の文字を見る日が多くなり、先日も30℃を超える真夏日となりました。

今年も春をあっという間に通り越して夏に突入する予感がします。

担当T

発行：館林厚生病院
(広報・年報委員会)

〒374-8533

群馬県館林市成島町262番地の1

TEL 0276-72-3140(代) FAX 0276-72-5445



「りれいと」とは「結びつける (relate)」
という意味の英語です。